



#74

0360
PATENT
83333.0001

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Ilu CHO

Serial No: 09/865,292

Filed: May 25, 2001

For: An Image Processing System and
Method

Art Unit: Not Assigned

Examiner: Not Assigned

I hereby certify that this correspondence
is being deposited with the United States
Postal Service with sufficient postage as
first class mail in an envelope addressed
to:

Assistant Commissioner for Patents
Washington D.C. 20231, on

July 31, 2001

Date of Deposit

Michael Crapenhof, Reg. No. 37,115

Name

Michael Crapenhof July 31, 2001

Signature

Date

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese patent application
No. 2000-157252 which was filed May 26, 2000, from which priority is claimed
under 35 U.S.C. § 119 and Rule 55.

Acknowledgment of the priority document(s) is respectfully requested to
ensure that the subject information appears on the printed patent.

Respectfully submitted,

HOGAN & HARTSON L.L.P.

Date: July 31, 2001

By: *Michael Crapenhof*

Michael Crapenhof

Registration No. 37,115

Attorney for Applicant(s)

500 South Grand Avenue, Suite 1900
Los Angeles, California 90071
Telephone: 213-337-6700
Facsimile: 213-337-6701



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 5月26日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-157252

出 願 人

Applicant(s):

株式会社クラフテック

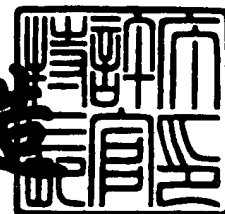
Best Available Copy

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 A00368

【提出日】 平成12年 5月26日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区北新宿1丁目1番17号

 【氏名】 趙 日宇

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都新宿区北新宿1丁目1番17号

 【氏名又は名称】 株式会社クラフテック

 【代表者】 趙 日宇

【代理人】

 【識別番号】 100087859

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 渡辺 秀治

 【電話番号】 03-5351-7518

【選任した代理人】

 【識別番号】 100110973

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 長谷川 洋

 【電話番号】 03-5351-7518

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 023618

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置、画像処理方法、画像処理システムならびに情報記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定手段と、
その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内、少なくとも上記画像形態を決定する画面形態決定手段と、
送信する画像を切り取る画像切取手段と、
その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示手段と、
前記画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、上記仮想携帯端末の画面を表示する画面表示手段とを備え、
前記画像切取手段は、上記仮想携帯端末の画面に合わせて、送信する画像を切り取ることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定手段と、
その指定した機種と同じ機種の仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示手段と、
その仮想携帯端末の画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取手段と、
その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

前記送信先携帯端末および前記仮想携帯端末は、携帯電話であることを特徴とする請求項 2 または 3 記載の画像処理装置。

【請求項 5】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成手段と、

その画像をURLで指定されるファイルとして保持する画像保持処理手段と、
そのファイルを上記携帯端末に送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 6】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URLで指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成手段と、

そのファイルを上記携帯端末に送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 7】

前記送信手段は、前記画像を作成した作成者に対して前記URLを送信すると共に、前記URLをその作成者が指定したアドレスに送信することを特徴とする請求項 5 または 6 記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶手段を、さらに備えたことを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載の画像処理装置。

【請求項 9】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、
その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内、少なくとも上記画像形態を決定する画面形態決定ステップと、
送信する画像を切り取る画像切取ステップと、
その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信ステップと、
を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 10】

仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、

前記画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、上記仮想携帯端末の画面を表示する画面表示ステップとを含み、

前記画像切取ステップは、上記仮想携帯端末の画面に合わせて、送信する画像を切り取ることを特徴とする請求項 9 記載の画像処理方法。

【請求項 1 1】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、

その指定した機種と同じ機種の仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、

その仮想携帯端末の画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取ステップと、

その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信ステップと、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 2】

前記送信先携帯端末および前記仮想携帯端末は、携帯電話であることを特徴とする請求項 1 0 または 1 1 記載の画像処理方法。

【請求項 1 3】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成ステップと、

その画像を URL で指定されるファイルとして保持する画像保持処理ステップと、

そのファイルを上記携帯端末に送信する送信ステップと、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 4】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URL で指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成ステップと、

そのファイルを上記携帯端末に送信する送信ステップと、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 5】

前記送信ステップは、前記画像を作成した作成者に対して前記URLを送信すると共に、前記URLをその作成者が指定したアドレスに送信することを特徴とする請求項 1 3 または 1 4 記載の画像処理方法。

【請求項 1 6】

前記送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶ステップを、さらに含むことを特徴とする請求項 9 から 1 5 のいずれか 1 項記載の画像処理方法。

【請求項 1 7】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、
その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内、少なくとも上記画像形態を決定する画面形態決定ステップと、
送信する画像を切り取る画像切取ステップと、
その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信ステップと、
を含むプログラムを格納したことを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 1 8】

仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、
前記画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、上記仮想携帯端末の画面を表示する画面表示ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体であって、

前記画像切取ステップは、上記仮想携帯端末の画面に合わせて、送信する画像を切り取ることを特徴とする請求項 1 7 記載の情報記録媒体。

【請求項 1 9】

画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、
その指定した機種と同じ機種の仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、
その仮想携帯端末の画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取ステップ

と、

その切り取った画像を、上記送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは上記送信先携帯端末自体に送信する送信ステップと、

を含むプログラムを格納しことを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 2 0】

前記送信先携帯端末および前記仮想携帯端末は、携帯電話であることを特徴とする請求項 1 8 または 1 9 記載の情報記録媒体。

【請求項 2 1】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成ステップと、

その画像を URL で指定されるファイルとして保持する画像保持処理ステップと、

そのファイルを上記携帯端末に送信する送信ステップと、

を含むプログラムを格納したことを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 2 2】

画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URL で指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成ステップと、

そのファイルを上記携帯端末に送信する送信ステップと、

を含むプログラムを格納したことを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 2 3】

前記送信ステップは、前記画像を作成した作成者に対して前記 URL を送信すると共に、前記 URL をその作成者が指定したアドレスに送信することを特徴とする請求項 2 1 または 2 2 記載の情報記録媒体。

【請求項 2 4】

前記送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶ステップを、さらに含むプログラムを格納したことを特徴とする請求項 1 7 から 2 3 のいずれか 1 項記載の情報記録媒体。

【請求項 2 5】

画像と、送信者を特定するための送信者情報とを送信する画像処理装置と、
インターネットを介して上記画像を受信する携帯電話と、

上記送信者情報を付記して、上記画像の格納場所を示すアドレスを作成するアドレス作成手段、上記アドレスを上記携帯電話に送信するアドレス送信手段および上記格納場所に画像を送信する画像送信手段とを有するサーバと、
を備え、

上記携帯電話は、通知されてきた上記アドレスにアクセスして、上記アドレスにある上記画像をダウンロードし、上記携帯電話の待ち受け画面とすることを特徴とする画像処理システム。

【請求項 2 6】

送信者を特定するための送信者情報を受け付ける送信者情報受付手段、上記送信者情報を付記して画像の格納場所を示すアドレスを作成するアドレス作成手段および上記画像と上記アドレスを送信する送信手段とを有する画像処理装置と、
インターネットを介して上記画像を受信する携帯電話と、

上記アドレスを上記携帯電話に送信するアドレス送信手段と、上記格納場所に画像を送信する画像送信手段または上記画像を格納する格納手段とを有するサーバと、
を備え、

上記携帯電話は、通知されてきた上記アドレスにアクセスして、上記アドレスにある上記画像をダウンロードし、上記携帯電話の待ち受け画面とすることを特徴とする画像処理システム。

【請求項 2 7】

送信者を特定するための送信者情報を受け付ける送信者情報受付手段、上記送信者情報を付記して画像の格納場所を示すアドレスを作成するアドレス作成手段、上記画像と上記アドレスを送信する送信手段および上記アドレスを上記携帯電話に送信するアドレス送信手段を有する画像処理システムであって、

上記送信者情報は、前記送信者を識別するための I D およびパスワードの内少なくともいずれか一方であることを特徴とする画像処理システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像を加工して携帯端末に向けて送信する画像処理装置、画像処理方法、画像処理システムならびに情報記録媒体に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

最近、携帯電話が爆発的に普及してきている。昨年より、携帯電話からインターネットを介してコンテンツ情報を入手できるサービスが始まり、携帯電話の利用はさらに加速している。

【 0 0 0 3 】

かかる携帯電話の普及に伴い、携帯電話用のコンテンツを提供する様々なビジネスが生まれている。例えば、最近では、携帯電話の待ち受け画面として、ユーザが気に入った画像を送信する待ち受け画面提供サービスが、知られている (<http://www.photonet.co.jp/>)。

【 0 0 0 4 】

このサービスは、サービス提供者がユーザから画像を預かり、電子メールにて、その画像のあるアドレスを通知するものである。画像は、所定のサーバの上記アドレスで指定された場所に格納されている。

【 0 0 0 5 】

アドレスの通知を受けたユーザ（画像を預けた人）は、そのアドレスを指定して、画像を入手できる。このため、上記サービスは、自分用あるいは友達用に、携帯電話の待ち受け画面を希望するユーザにとって、人気のあるコンテンツサービスとなっている。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記のサービスには、次のような問題がある。1つは、友達などに送った画像が、その友達の持っている携帯電話の画面にフィットしない事態が生じる点である。携帯電話の画面の大きさや形は、メーカーおよびその機種によって異なる。

【0007】

このため、せっかく送られてきた画像が、携帯電話の画面からはみ出して待ち受け画面として取り込むことが出来ないことがある。また、逆に、送られてきた画像が小さすぎて、携帯電話の画面に余分なスペースが生じて、見栄えが悪い場合もある。

【0008】

このような携帯電話の画面と送られてくる画像の不一致を防ぐには、送る相手の携帯電話の画面の大きさを予め調べておくか、あるいは少しずつ大きさが異なる複数の画像を送る必要がある。しかし、これでは、ユーザに手間と費用を強いることになり、ひいては利用者の減少を招く。また、携帯電話側で、その画面形態に合うように、自動リサイズする機能も知られている。しかし、この方法だと、画像がぼけたり、あるいは見えなくなり、見栄えが悪い。

【0009】

2つめの問題は、第三者が、画像を横取りする危険性がある点である。画像を格納しておく場所のアドレスは、正当な相手の携帯電話に通知される。しかし、通知された相手が長時間画像を取り込まないで放置しておく、と、第三者が、そのアドレスを知り、横取りする危険性がある。特に、第三者が正当な相手の知人であれば、アドレスを知る機会が高くなる。

【0010】

本発明は、このような問題に鑑みてなされたものであり、送る相手の携帯端末の画面にフィットした画像を送ることが出来る画像処理装置、画像処理方法ならびに情報記録媒体を提供することを目的とする。また、他の発明は、相手に対して安全に画像を送ることが出来る画像処理システムを提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定手段と、その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内、少なくとも上記画像形態を決定する画面形態決

定手段と、送信する画像を切り取る画像切取手段と、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信手段とを備えた画像処理装置とするようにしている。このため、画像を送るユーザは、画像を受け取る相手の携帯端末の機種を把握しているだけで、その機種にあった画像を送ることが出来る。したがって、送った画像は、相手側の携帯端末の画面の大きさにフィットする。

【 0 0 1 2 】

また、他の発明は、仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示手段と、画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、仮想携帯端末の画面を表示する画面表示手段とを備え、画像切取手段は、仮想携帯端末の画面に合わせて、送信する画像を切り取る画像処理装置としている。このため、送った画像は、相手側の携帯端末の画面の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、予め、相手の携帯端末の画面に表示される状態を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末にふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 1 3 】

また、他の発明は、画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定手段と、その指定した機種と同じ機種の仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示手段と、その仮想携帯端末の画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取手段と、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信手段とを備えた画像処理装置とするようにしている。このため、送った画像は、相手側の携帯端末の画面の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、画面に表示される画像の状態のみならず、相手の携帯端末のデザインと画像の相性を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末によりふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 1 4 】

また、他の発明は、送信先携帯端末および仮想携帯端末を携帯電話とするようにしている。このため、携帯電話の待ち受け画面として、画像を送ることが出来る。

【 0 0 1 5 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成手段と、その画像をURLで指定されるファイルとして保持する画像保持処理手段と、そのファイルを携帯端末に送信する送信手段とを備えた画像処理装置とするようにしている。このため、ユーザが機種を入力しなくても、送信先の携帯端末の画面形態に合った画像が作成され、付与されたURLの場所に保持される。そして、送信先のユーザが通知されたURLを指定すると、保持されていた画像が送信先のユーザに送信される。

【 0 0 1 6 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URLで指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成手段と、そのファイルを上記携帯端末に送信する送信手段とを備えた画像処理装置とするようにしている。このため、ユーザから送られた画像を、送信先の携帯端末の画面形態に合わせなくても、サーバとしての画像処理装置は、拡大あるいは縮小する情報に基づいて、送信先のユーザの携帯端末に合った画像形態に調整することになる。

【 0 0 1 7 】

また、他の発明は、送信手段を、画像を作成した作成者に対してURLを送信すると共に、URLをその作成者が指定したアドレスに送信するようにした画像処理装置としている。このため、送信先のユーザは、送られてきたURLを指定するだけで画像を取り込むことができ、また、送信元のユーザは、送信したURLを確認することができる。

【 0 0 1 8 】

また、他の発明は、送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶手段を、さらに備えた画像処理装置としている。このため、画像を送ったユーザは、後で相手に送った画像を確認してから、次の画像を送ることができる。したがって、同じ画像を2回送ったり、あるいは送るべき画像を送り忘れたりする危険性が少なくなる。

【 0 0 1 9 】

また、他の発明は、画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種

指定ステップと、その指定した機種 of 画面形態、データ許容量、画像 of データフォーマット of 内、少なくとも画像形態を決定する画面形態決定ステップと、送信する画像を切り取る画像切取ステップと、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信ステップとを含む画像処理方法としている。このため、画像を送るユーザは、画像を受け取る相手の携帯端末 of 機種を把握しているだけで、その機種にあった画像を送ることが出来る。したがって、送った画像は、相手側 of 携帯端末 of 画面 of の大きさにフィットする。

【 0 0 2 0 】

また、他の発明は、仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、仮想携帯端末 of 画面を表示する画面表示ステップとを含み、画像切取ステップは、仮想携帯端末 of 画面に合わせて、送信する画像を切り取る画像処理方法としている。このため、送った画像は、相手側 of 携帯端末 of 画面 of の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、予め、相手の携帯端末 of 画面に表示される状態を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末にふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 2 1 】

また、他の発明は、画像を送信する先 of 送信先携帯端末 of 機種を指定する機種指定ステップと、その指定した機種と同じ機種 of 仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、その仮想携帯端末 of 画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取ステップと、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信ステップとを含む画像処理方法としている。このため、送った画像は、相手側 of 携帯端末 of 画面 of の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、画面に表示される画像 of の状態のみならず、相手の携帯端末 of のデザインと画像 of の相性を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末によりふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 2 2 】

また、他の発明は、送信先携帯端末および仮想携帯端末を携帯電話とするようにしている。このため、携帯電話の待ち受け画面として、画像を送ることができ

る。

【 0 0 2 3 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成ステップと、その画像をURLで指定されるファイルとして保持する画像保持処理ステップと、そのファイルを携帯端末に送信する送信ステップとを含む画像処理方法とするようにしている。このため、ユーザが機種を入力しなくても、送信先の携帯端末の画面形態に合った画像が作成され、付与されたURLの場所に保持される。そして、送信先のユーザが通知されたURLを指定すると、保持されていた画像が送信先のユーザに送信される。

【 0 0 2 4 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URLで指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成ステップと、そのファイルを携帯端末に送信する送信ステップとを含む画像処理方法とするようにしている。このため、ユーザから送られた画像を、送信先の携帯端末の画面形態に合わせなくても、サーバとしての画像処理装置は、拡大あるいは縮小する情報に基づいて、送信先のユーザの携帯端末に合った画像形態に調整することになる。

【 0 0 2 5 】

また、他の発明は、送信ステップを、画像を作成した作成者に対してURLを送信すると共に、URLをその作成者が指定したアドレスに送信する画像処理方法としている。このため、送信先のユーザは、送られてきたURLを指定するだけで画像を取り込むことができ、また、送信元のユーザは、送信したURLを確認することができる。

【 0 0 2 6 】

また、他の発明は、送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶ステップを、さらに含む画像処理方法とするようにしている。このため、画像を送ったユーザは、後で相手に送った画像を確認してから、次の画像を送ることができる。したがって、同じ画像を2回送ったり、あるいは送るべき画像を送り忘れたりする危険性が少なくなる。

【 0 0 2 7 】

また、他の発明は、画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内、少なくとも画像形態を決定する画面形態決定ステップと、送信する画像を切り取る画像切取ステップと、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体とするようにしている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、画像を送るユーザは、画像を受け取る相手の携帯端末の機種を把握しているだけで、その機種にあった画像を送ることが出来る。したがって、送った画像は、相手側の携帯端末の画面の大きさにフィットする。

【 0 0 2 8 】

また、他の発明は、仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、画面形態決定手段が決定した画面形態に合わせて、仮想携帯端末の画面を表示する画面表示ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体であって、画像切取ステップは、仮想携帯端末の画面に合わせて、送信する画像を切り取る情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、送った画像は、相手側の携帯端末の画面の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、予め、相手の携帯端末の画面に表示される状態を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末にふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 2 9 】

また、他の発明は、画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定ステップと、その指定した機種と同じ機種の仮想携帯端末を表示する仮想携帯端末表示ステップと、その仮想携帯端末の画面で、送信する画像を囲んで切り取る画像切取ステップと、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、送った画像は、相手側の携帯端末の画

面の大きさにフィットする。また、画像を送るユーザは、画面に表示される画像の状態のみならず、相手の携帯端末のデザインと画像の相性を把握することが出来る。したがって、相手の携帯端末によりふさわしい画像を送ることが出来る。

【 0 0 3 0 】

また、他の発明は、送信先携帯端末および仮想携帯端末を携帯電話とした情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、携帯電話の待ち受け画面として、画像を送ることができる。

【 0 0 3 1 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態にあった画像を形成する画像形成ステップと、その画像をURLで指定されるファイルとして保持する画像保持処理ステップと、そのファイルを携帯端末に送信する送信ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、ユーザが機種を入力しなくても、送信先の携帯端末の画面形態に合った画像が作成され、付与されたURLの場所に保持される。そして、送信先のユーザが通知されたURLを指定すると、保持されていた画像が送信先のユーザに送信される。

【 0 0 3 2 】

また、他の発明は、画像を送信する先の携帯端末の表示画面の形態に合うようにその画像を拡大あるいは縮小可能とする情報を、URLで指定されるファイルに当該画像と共に入れ込むファイル形成ステップと、そのファイルを携帯端末に送信する送信ステップとを含むプログラムを格納した情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、ユーザから送られた画像を、送信先の携帯端末の画面形態に合わせなくても、サーバとしての画像処理装置は、拡大あるいは縮小する情報に基づいて、送信先のユーザの携帯端末に合った画像形態に調整することになる。

【 0 0 3 3 】

また、他の発明は、送信ステップを、画像を作成した作成者に対してURLを送信すると共に、URLをその作成者が指定したアドレスに送信するようにした

情報記録媒体としている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、送信先のユーザは、送られてきたURLを指定するだけで画像を取り込むことができ、また、送信元のユーザは、送信したURLを確認することができる。

【 0 0 3 4 】

また、他の発明は、送信先携帯端末に向けて送信した画像と同じ画像を記憶する記憶ステップを、さらに含むプログラムを格納した情報記録媒体とするようにしている。このため、この情報記録媒体に格納されたプログラムを実行することによって、画像を送ったユーザは、後で相手に送った画像を確認してから、次の画像を送ることができる。したがって、同じ画像を2回送ったり、あるいは送るべき画像を送り忘れてたりする危険性が少なくなる。

【 0 0 3 5 】

また、他の発明は、画像と、送信者を特定するための送信者情報とを送信する画像処理装置と、インターネットを介して画像を受信する携帯電話と、送信者情報を付記して、画像の格納場所を示すアドレスを作成するアドレス作成手段、アドレスを携帯電話に送信するアドレス送信手段および格納場所に画像を送信する画像送信手段とを有するサーバとを備え、携帯電話は、通知されてきたアドレスにアクセスして、アドレスにある画像をダウンロードし、携帯電話の待ち受け画面とする画像処理システムとするようにしている。

【 0 0 3 6 】

このため、アドレスの通知を受けた相手は、そのアドレスを指定して、自分の携帯電話に画像を取り込み、それを待ち受け画面とすることができる。第三者は、アドレスを知ることには出来ても、画像を送った者の送信者情報を知ることには出来ない。したがって、画像を横取りすることはできない。また、画像を送信する側の画像処理装置に、アドレスを作成するツールを持たせる必要がないので、画像処理装置のデータ容量を小さくすることができる。

【 0 0 3 7 】

また、他の発明は、送信者を特定するための送信者情報を受け付ける送信者情報受付手段、送信者情報を付記して画像の格納場所を示すアドレスを作成するア

ドレス作成手段および画像とアドレスを送信する送信手段とを有する画像処理装置と、インターネットを介して画像を受信する携帯電話と、アドレスを携帯電話に送信するアドレス送信手段と、格納場所に画像を送信する画像送信手段または画像を格納する格納手段とを有するサーバとを備え、携帯電話は、通知されてきたアドレスにアクセスして、アドレスにある画像をダウンロードし、携帯電話の待ち受け画面とする画像処理システムとしている。

【 0 0 3 8 】

このため、アドレスの通知を受けた相手は、そのアドレスを指定して、自分の携帯電話に画像を取り込み、それを待ち受け画面とすることができる。第三者は、アドレスを知ることには出来ても、画像を送った者の送信者情報を知ることには出来ない。したがって、画像を横取りすることはできない。また、サーバに、アドレスを作成するツールを持たせる必要がないので、サーバのデータ容量を小さくすることが出来る。

【 0 0 3 9 】

また、他の発明は、送信者を特定するための送信者情報を受け付ける送信者情報受付手段、送信者情報を付記して画像の格納場所を示すアドレスを作成するアドレス作成手段、画像とアドレスを送信する送信手段およびアドレスを携帯電話に送信するアドレス送信手段を有する画像処理システムであって、送信者情報は、送信者を識別するためのIDおよびパスワードの内少なくともいずれか一方である画像処理システムとするようにしている。

【 0 0 4 0 】

このため、画像の取り込みの安全性がより高まる。また、送信者は、画像を送信する前に登録者であることを示すIDおよびパスワードを入力しているため、アドレス作成用として別の入力を行う必要がない。したがって、画像を送信するユーザの手間を軽減できる。

【 0 0 4 1 】

【発明の実施の形態】

本発明に係る画像処理装置、画像処理方法、画像処理システムならびに情報記録媒体の好適な実施の形態について、図面に基づき説明する。なお、次の実施の

形態では、送信先携帯端末として携帯電話を用いた例につき説明する。ただし、送信先携帯端末を、モバイルコンピュータ等の小型通信端末としても良い。

【 0 0 4 2 】

まず、図 1 に基づいて、画像処理システムを構成する装置間におけるデータの流れにつき、簡単に説明する。

【 0 0 4 3 】

図 1 は、本発明の画像処理システムを示す図である。ユーザは、送信先の相手ユーザあるいはユーザ自身（以後、相手ユーザを例に説明する）に待ち受け画面に使用可能な画像データを送る際、ユーザの画像処理装置 1 にて画像データの加工を行う。画像処理装置 1 では、画像データは、相手ユーザが持っている送信先携帯端末としての携帯電話 8 の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットに合うように加工される。なお、画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内のいくつかが携帯電話 8 間で統一されていれば、統一されていない項目を設定するようにしても良い。

【 0 0 4 4 】

こうして加工された画像データと、ユーザが入力したユーザ情報とは、商用のプロバイダサーバ 2 とインターネット 3 を経て、サーバとなる画像提供用サーバ 4 に送られる。なお、インターネット 3 には、電子決済用のウェブサイトを持つ商用のプロバイダサーバ 5 が接続されている。ユーザは、上記画像提供用サーバ 4 にあるユーザ登録用のウェブサイトにてユーザ登録を行ってから、画像送信手続を行う。

【 0 0 4 5 】

画像提供用サーバ 4 に送られた画像データは、画像提供用サーバ 4 内に保存される。一方、画像提供用サーバ 4 は、送られてきたユーザ情報を所定フォーマットのアドレスに付記し、画像データの保存場所を示す Uniform Resource Locator（以後、URL という）を作成する。続いて、画像提供用サーバ 4 は、インターネット 3、携帯端末接続用サーバ 6、通信局 7 を経て、送信先の携帯電話 8 に URL を通知する。

【 0 0 4 6 】

携帯電話 8 を持つ相手が、通知された URL を指定する。すると、その URL が示す場所に保存された画像データが、インターネット 3、携帯端末接続用サーバ 6、通信局 7 を経て、携帯電話 8 に送信される。こうして、携帯電話 8 の待ち受け画面に画像データが貼り付けられる。

【 0 0 4 7 】

次に、画像処理装置 1、画像提供用サーバ 4、商用のプロバイダサーバ 5 における各処理の詳細について、図 2 から図 1 3 に基づいて説明する。

【 0 0 4 8 】

図 2 は、画像処理装置 1 の構成を示す図である。画像処理装置 1 は、データ送受信部 1 1 と、制御部 1 2 と、Read Only Memor（以後、ROM という）1 3 と、Random Access Memory（以後、RAM という）1 4 と、機種指定部 1 5 と、画面形態決定部 1 6 と、画面表示部 1 7 と、画面切取部 1 8 と、仮想携帯端末表示部 1 9 と、記憶部 2 0 と、表示処理部 2 1 と、ユーザ情報保持部 2 2 とを備えている。

【 0 0 4 9 】

データ送受信部 1 1 は、画像提供用サーバ 4 に向けて画像データおよびユーザ情報を送信する送信手段である。また、データ送受信部 1 1 は、画像提供用サーバ 4 から、エラー時の通知、送信完了通知、サイトを更新する情報等を受信する部分である。

【 0 0 5 0 】

制御部 1 2 は、画像処理装置 1 の全体を制御する部分であり、下記の機種指定部 1 5 等の処理動作を制御する。ROM 1 3 は、制御部 1 2 の制御用プログラムを格納する部分である。制御部 1 2 は、ROM 1 3 内の制御用プログラムに基づいて、各構成部を制御する。

【 0 0 5 1 】

RAM 1 4 は、携帯電話の機種情報、携帯電話の画像データ（＝仮想携帯端末の画像）等の情報を格納しておく、読み込みと書込可能なメモリである。したがって、新しい携帯電話が発売された場合には、RAM 1 4 のデータにその機種名、その機種の画面の形態、携帯電話の外観等の新しい携帯電話情報を追加するこ

とができる。また、RAM 14 から、古い機種の手電話情報を削除することもできる。

【0052】

機種指定部 15 は、ユーザから、メーカー毎の手電話の機種の入力を受け付ける機種指定手段である。画面形態決定部 16 は、手電話の機種を受け付けた際に、その機種の手画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットを決定する画面形態決定手段である。画面表示部 17 は、決定した画面形態に合わせて、表示されている仮想手端末の手画面を表示する画面表示手段である。

【0053】

画像切取部 18 は、気に入った画像から、相手ユーザの手電話 8 の待ち受け画面用の画像を切り取る画像切取手段である。仮想手端末表示部 19 は、ユーザがプログラムを起動した際に、画像処理装置 1 のスクリーンに、手電話をデザインした仮想手端末の手画像を表示させる仮想手端末表示手段である。

【0054】

記憶部 20 は、ユーザが送信した画像データを保存しておく記憶手段である。所定枚数以上になると、先に保存した画像データから削除されるようになっている。表示処理部 21 は、仮想手端末の手画像にある各ボタンを操作した際に、別のフレームを表示させる部分である。

【0055】

ユーザ情報保持部 22 は、ユーザ情報を保持しておく部分である。具体的には、送信先アドレスとパスワードが保持される。そして、画像データの送信の際に、これらのユーザ情報が、ユーザ情報保持部 22 から読み出されて、画像データと共に画像提供用サーバ 4 へと送信される。

【0056】

図 3 は、ユーザが画像提供サービスの会員登録を行う際の手続の流れを示す図である。ユーザは、次のような会員登録を行ってから、画像データの送信を実行する。

【0057】

ユーザは、ユーザ端末 25 から、インターネット 3 を介して、画像提供用サー

バ4にある会員登録サイトにアクセスする。会員登録サイトにアクセスすると、ユーザは、まず、画像提供サービスの利用形態を選択する（ステップS101）。

【0058】

利用形態は、24時間利用可能な「1日利用」と、継続して何回でも利用可能な「月会員制」に分けられている。「1日利用」の場合には、登録から24時間経過すると、自動的にサービスが打ち切られる。一方、「月会員制」の場合には、退会手続を行うまで継続して登録され、毎月、月会費が徴収される。なお、メンテナンスの時間を考慮して、10時間あるいは18時間利用可能な「1日利用」としても良い。さらに、48時間利用可能な「2日利用」や72時間利用可能な「3日利用」を採用しても良い。

【0059】

ユーザは、利用形態の選択を行った後、利用登録情報を入力する（ステップS102）。利用登録情報には、送信先のメールアドレス、パスワード、ユーザの氏名、ユーザの連絡先等のユーザ情報が含まれる。

【0060】

ユーザが利用登録情報を入力して登録実行操作を行うと、会員登録サイトでは、登録済チェックが行われる（ステップS103）。具体的には、会員登録サイトでは、利用登録テーブル26を調べて、メールアドレスとパスワードの組み合わせが既に登録されているか否かがチェックされる。1登録につき、1メールアドレスへの送信サービスであるため、同じメールアドレスでもパスワードが異なれば別登録となる。

【0061】

1つのURLには、1つの画像が割り当てられる。したがって、1つの利用登録しか行っていないユーザが同じアドレスに複数の画像データを送信する場合には、新しい画像は、古い画像データに上書きされることになる。

【0062】

ステップS103におけるチェックの結果、ユーザが登録済みの場合には、会員登録サイトでは、ユーザに対して既登録表示の処理が行われる（ステップS1

04)。具体的には、既に登録されている旨の情報と、入力されたメールアドレスへの送信サービスがいつまで利用できるかという情報が表示される。

【0063】

一方、ユーザが登録されていない新規ユーザの場合には、電子決済種別選択のステップに移行する（ステップS105）。このステップでは、「1日利用」か「月会員制」により異なる決済種別が採用されている。「1日利用」の場合には、プリペイドカード方式またはID・パスワード方式の課金サービスを提供するサイトを利用して決済が行われる。一方、「月会員制」の場合には、ID・パスワード方式の課金サービスを提供するサイトを利用して決済が行われる。

【0064】

決済方法を特定すると、仮登録処理が行われる（ステップS106）。仮登録処理は、メンバーIDの発行、送信先メールアドレスの登録、パスワードの登録、利用形態の登録、決済種別の登録、仮登録であることの表示などをいう。仮登録処理の結果は、利用登録テーブル26に格納される。

【0065】

仮登録処理が済むと、インターネット3を介して画像提供用サーバ4と接続される電子決済サービス提供サイト5aにおいて、決済内容表示と、決済用ID入力が行われる（ステップS107）。そして、決済を実行すると、電子決済処理が行われる（ステップS108）。

【0066】

次に、画像提供用サーバ4において、本登録である利用登録処理が行われる（ステップS109）。利用登録処理は、正式登録であることの表示、有効期間、決済種別、決済用IDなどを利用登録テーブル26に格納するものである。利用登録処理が済むと、登録が完了する（ステップS110）。

【0067】

図4は、画像処理装置1においてプログラムを立ち上げた時に表示される仮想携帯端末を示す図である。この仮想携帯端末30は、画像処理装置1に接続されるマウスで掴んで、画像処理装置1のスクリーン上を上下左右に移動可能となっている。

【 0 0 6 8 】

仮想携帯端末 3 0 は、表示部 3 1 と、シャッターキー 3 2 と、ズームアップキー 3 3 と、ズームアウトキー 3 4 と、右 9 0 度回転キー 3 5 と、左 9 0 度回転キー 3 6 と、1 8 0 度回転キー 3 7 と、フレームキー 3 8, 3 9 と、ノンフレームキー 4 0 と、サイズキー 4 1 と、リストキー 4 2 と、中止キー 4 3 とを備えている。

【 0 0 6 9 】

表示部 3 1 は、裏側の画像に合わせて画像を切り取るための貫通した窓である。表示部 3 1 は、ユーザが携帯電話の機種を設定することによって、その大きさと形状が変化する。この機構については、後述する。

【 0 0 7 0 】

シャッターキー 3 2 は、表示部 3 1 にて画像の位置を特定した後に、画像を取り込むためのキーである。ズームアップキー 3 3 は、表示部 3 1 で囲まれた画像を拡大するためのキーである。また、ズームアウトキー 3 4 は、表示部 3 1 で囲まれた画像を縮小するためのキーである。

【 0 0 7 1 】

右 9 0 度回転キー 3 5 は、シャッターキー 3 2 を押す前に、表示部 3 1 で囲まれた画像を右側（すなわち、時計回り）に 9 0 度回転させるためのキーである。左 9 0 度回転キー 3 6 は、シャッターキー 3 2 を押す前に、表示部 3 1 で囲まれた画像を左側（すなわち、反時計回り）に 9 0 度回転させるためのキーである。1 8 0 度回転キー 3 7 は、シャッターキー 3 2 を押す前に、表示部 3 1 で囲まれた画像を 1 8 0 度回転させて逆さまにするためのキーである。

【 0 0 7 2 】

フレームキー 3 8, 3 9 は、シャッターキー 3 2 を押す前に、表示部 3 1 で囲まれた画像の周囲に模様を施すためのキーである。フレーム 3 8 とフレーム 3 9 は、それぞれ異なる模様のデータを出力するキーである。また、ノンフレームキー 4 0 は、画像の周囲に模様を施す必要がないときに押すキーである。特に、連続して画像を取り込む際に、前に取り込んだときに設定していた模様を削除する際に押す。

【 0 0 7 3 】

サイズキー 4 1 は、携帯端末の機種、画像の大きさおよび画像の配色を設定するためのキーである。リストキー 4 2 は、過去の画像データを見るためのキーである。中止キー 4 3 は、画像の送信作業を中止するときに押すキーである。なお、この実施の形態では、上記の各種キー 3 2 等は、画像処理装置 1 に接続されるマウス操作でオンするようにしている。しかし、キーボード等の操作手段によって、各種キー 3 2 等をオンするようにしても良い。

【 0 0 7 4 】

図 5 は、仮想携帯端末 3 0 を使って、画像を取り込む作業を具体的に示す図である。図 5 に示すように、ユーザは、送信したいキャラクタ画像 5 0 を含む画像 5 1 の上で、仮想携帯端末 3 0 を動かし、表示部 3 1 に取り込みたい送信用画像 5 2 をセットする。フレームキー 3 8 を押すと、送信用画像 5 2 の周囲に模様 5 3 が表示される。この状態で、シャッターキー 3 2 を押すと、表示部 3 1 で囲まれた送信用画像 5 2 に模様 5 3 を施した画像が読み込まれる。

【 0 0 7 5 】

図 5 において、表示部 3 1 の形態は、サイズキー 4 1 で設定できる。図 6 (A) は、サイズキー 4 1 を押したときに表示される端末設定画面を示す図である。端末設定画面 6 0 には、携帯端末の機種を選択する機種選択欄 6 1、画像のサイズと配色を設定するカスタム設定欄 6 2、設定確定キー 6 3 および設定キャンセルキー 6 4 が設けられている。

【 0 0 7 6 】

カスタム設定欄 6 2 において、ユーザは、画像の縦の長さと横の長さを入力することができる。また、ユーザは、モノクロ (2 階調)、モノクロ (4 階調) 若しくはカラー (2 5 6 色) のいずれかを選択できる。図 6 (A) の機種選択欄 6 1 には、前回画像を取り込んだときに設定された機種 6 1 a が表示されている。この機種 6 1 a を変更したいときには、機種選択欄 6 1 の右にある逆三角形部分 6 1 b を押す。

【 0 0 7 7 】

すると、図 6 (B) に示すように、機種選択欄 6 1 の下方に、複数機種の一覧

6 1 c が表示される。ユーザは、この複数機種の一覧 6 1 c から、送信先の相手が持つ機種を選択できる。ユーザが機種を選択すると、機種選択欄 6 1 に選択した機種が表示されると共に、サイズの数値が自動的に切り替わる。もし、自動的に切り替わった数値を変えたいときには、ユーザは、手入力にて、サイズを変更することもできる。なお、画像処理装置 1 の画面には表示されないが、携帯電話 8 によって異なるデータ許容量および画像のデータフォーマットも、機種の選択によって設定されるようになっている。

【 0 0 7 8 】

こうして、ユーザは、送信先の持つ携帯電話の機種を設定して画像サイズを設定すると共に、画像の配色を設定した後、設定確定キー 6 3 を押す。すると、先に示した仮想携帯端末 3 0 の表示部 3 1 は、設定した大きさと形状に変わる。また、送信用画像 5 2 の配色も変わる。

【 0 0 7 9 】

図 7 は、送信用画像 5 2 を取り込んだ後に、リストキー 4 2 を押した時に表示されるリスト画面を示す図である。このリスト画面 7 0 には、送信用画像 5 2 と、過去に送信した過去画像 7 6 が表示されている。ユーザは、リスト画面 7 0 を表示させることにより、送信用画像 5 2 と過去画像 7 6 とを確認し、送信用画像 5 2 を相手に送ることができる。このため、誤って過去画像 7 6 と同じ画像を送る可能性は低い。

【 0 0 8 0 】

また、図 7 に示すように、リスト画面 7 0 には、消去キー 7 2 と、送信確認キー 7 3 と、戻りキー 7 4 と、全消去キー 7 5 が設けられている。消去キー 7 2 は、取り込んだ送信用画像 5 2 を消去するためのキーである。送信確認キー 7 3 は、送信用画像 5 2 を送信する前の送信確認画面に移行するためのキーである。戻りキー 7 4 は、仮想携帯端末 3 0 が表示される画面に戻るためのキーである。全消去キー 7 5 は、過去画像 7 6 を全て消去するためのキーである。

【 0 0 8 1 】

図 8 は、図 7 に示すリスト画面 7 0 から送信確認キー 7 3 を押した際に表示される送信確認画面 8 0 を示す図である。送信確認画面 8 0 には、送信先アドレス

入力欄 8 1 と、タイトル入力欄 8 2 と、送信用画像 5 2 を含む画像加工欄 8 3 と、送信キー 8 4 と、キャンセルキー 8 5 が設けられている。また、画像加工欄 8 3 には、図 6 に示したカスタム設定欄 6 2 と同じサイズ入力欄 8 6 および配色指定欄 8 7 が設けられている。さらに、画像加工欄 8 3 には、右 9 0 度回転キー 8 8 と、左 9 0 度回転キー 8 9 と、1 8 0 度回転キー 9 0 が設けられている。

【 0 0 8 2 】

ユーザは、送信用画像 5 2 を送信する前に、送信先アドレス入力欄 8 1 に相手先のアドレスを入力する必要がある。また、ユーザは、タイトル入力欄 8 2 に、送信用画像 5 2 を送付するメールのタイトルを入力することができる。なお、タイトルは、必須の入力事項としても、任意の入力事項としても良い。

【 0 0 8 3 】

また、ユーザは、サイズ入力欄 8 6 および配色指定欄 8 7 の内容を確認し、異なる内容を指定したい時には、サイズ入力欄 8 6 および配色指定欄 8 7 を変更することができる。さらに、ユーザは、右 9 0 度回転キー 8 8、左 9 0 度回転キー 8 9 または 1 8 0 度回転キー 9 0 を押して、送信用画像 5 2 を回転させることができる。

【 0 0 8 4 】

このように、ユーザは、送信用画像 5 2 の所定の加工を終了した後、送信キー 8 4 を押す。すると、送信用画像 5 2 のデータと、タイトル、ユーザ情報等が、画像提供用サーバ 4 に送られる。送信用画像 5 2 が送信されると、これと同じ画像のデータが記憶され、過去画像 7 6 に加えられる。なお、送信をキャンセルしたいときには、キャンセルキー 8 5 を押すと、送信が中止される。

【 0 0 8 5 】

次に、画像処理装置 1 における画像の加工処理および送信処理の流れを、図 9 のフローチャートに基づいて説明する。

【 0 0 8 6 】

まず、ユーザは、画像処理装置 1 内のプログラムを起動する（ステップ S 2 0 1）。すると、プログラムが起動されて、仮想携帯端末表示部 1 9 が画像処理装置 1 のスクリーンに、仮想携帯端末を表示する（ステップ S 2 0 2）。次に、ユ

ーザが携帯電話の機種を入力すると、機種指定部 1 5 が入力された機種を指定する（ステップ S 2 0 3）。

【 0 0 8 7 】

すると、画面形態決定部 1 6 は、指定された機種の画面形態等を決定する（ステップ S 2 0 4）。次に、画面表示部 1 7 は、決定した画面形態に合わせて、仮想携帯端末の画面を表示する（ステップ S 2 0 5）。次に、画像切取部 1 8 は、シャッターキー 3 2 のオン信号を受けて、表示部 3 1 内の画像を切り取る（ステップ S 2 0 6）。

【 0 0 8 8 】

次に、制御部 1 2 は、ユーザからの送信先アドレスの入力を受け付ける（ステップ S 2 0 7）。そして、データ送受信部 1 2 は、入力されたアドレスに画像を送信する（ステップ S 2 0 8）。続いて、記憶部 2 0 は、送信した画像のコピーを保存する（ステップ S 2 0 9）。なお、記憶部 2 0 は、画像のコピーを送信して、画像自体を保存しても良い。かかる一連の流れをもって、処理が終了する。

【 0 0 8 9 】

また、画像処理装置 1 に備えたデータ送受信部 1 1、機種指定部 1 5、画面形態決定部 1 6、画面表示部 1 7、画面切取部 1 8、仮想携帯端末表示部 1 9 および記憶部 2 0 に替わって、これらと同じ処理動作を実行する送信ステップ、機種指定ステップ、画面形態決定ステップ、画面表示ステップ、画像切取ステップ、仮想携帯端末表示ステップおよび記憶ステップをそれぞれ含むプログラムをコンピュータに読み込ませても良い。上記プログラムは、フロッピーディスク、CD-ROM 等の情報記録媒体に格納されて、取引対象となり得る。

【 0 0 9 0 】

次に、図 1 0 に基づいて、サーバの役割を持つ画像処理装置となる画像提供用サーバ 4 の構成について説明する。

【 0 0 9 1 】

画像提供用サーバ 4 は、データ送受信部 1 1 1 と、制御部 1 1 2 と、Read Only Memor（以後、ROM という） 1 1 3 と、Random Access Memory（以後、RAM という） 1 1 4 と、ユーザ登録処理部 1 1 5 と、プログラム受渡部 1 1 6 と、

データ解析部 117 と、登録調査部 118 と、URL 作成部 119 と、画像形成部 120 と、画像保持処理部 121 と、ファイル形成部 122 と、HTML 作成部 123 と、画像表示部 124 と、登録処理部 125 と、利用登録テーブル 26 と、送信画像テーブル 27 とを備えている。

【0092】

データ送受信部 111 は、ユーザ端末としての画像処理装置 1 に向けて、種々の通知をしたり、相手ユーザの携帯電話 8 に向けて画像データ、作成した URL 等を送信する送信手段と、送信者情報を受け付ける送信者情報受付手段とを兼ねる部分である。また、データ送受信部 111 は、ユーザ端末としての画像処理装置 1 から、画像データと共にメールを受信する部分でもある。

【0093】

制御部 112 は、画像提供用サーバ 4 全体を制御する部分である。ROM 113 は、制御部 112 の制御用プログラムを格納する部分である。RAM 114 は、ユーザ用アプリケーションや画像の拡大・縮小プログラム等のデータを格納しておく、読み込みと書込可能なメモリである。

【0094】

ユーザ登録処理部 115 は、ユーザからの登録事項を受け付けて、ユーザ登録を行う部分である。プログラム受渡部 116 は、ユーザから送信されたメールデータを、プログラムに受け渡すための処理を行う部分である。データ解析部 117 は、送信元、送信先等のチェック、時間帯のチェック、アプリケーションソフトのバージョンチェックなどを行うと共に、メールデータの解析を行う部分である。

【0095】

登録調査部 118 は、ユーザの登録状況をチェックする部分である。URL 作成部 119 は、所定フォーマットのアドレスに、メンバー ID、暗号化パスワード、配信 ID を付記して、画像データ格納場所としての URL を作成するアドレス作成手段である。

【0096】

画像形成部 120 は、画像を送信する先の携帯電話 8 の画面形態等に合った画

像を形成する画像形成手段である。画像形成部 1 2 0 は、ユーザの画像処理装置 1 から任意な形態の画像が送られてきた時に、その画像データの加工を行う部分である。

【 0 0 9 7 】

画像保持処理部 1 2 1 は、画像データ、拡大・縮小情報、画像タイトル等を保持する画像保持処理である。ファイル形成部 1 2 2 は、拡大・縮小情報と画像データを一緒に格納したファイルを形成するファイル形成手段である。また、画像保持処理部 1 2 1 は、送信画像テーブル 2 7 に画像データを格納する画像送信手段である。

【 0 0 9 8 】

HTML 作成部 1 2 3 は、画像データを表示するために必要な HTML を作成する部分である。また、画像表示部 1 2 4 は、画像をブラウザに表示させる部分である。登録処理部 1 2 5 は、ユーザがパスワードを変更したり、会員を中止する時に行う手続を行う部分である。

【 0 0 9 9 】

利用登録テーブル 2 6 は、ユーザの登録情報を格納しておく部分である。また、送信画像テーブル 2 7 は、相手ユーザの携帯電話 8 に向けて送る画像データを格納しておく格納手段である。なお、ここに、画像データの他に、拡大・縮小情報、画像タイトル等の付加情報を格納するようにしても良い。

【 0 1 0 0 】

次に、ユーザの端末にて画像の加工および送信を行ってから、相手の携帯電話 8 に画像が送られるまでの処理の流れについて、図 1 1 に基づいて説明する。

【 0 1 0 1 】

まず、ユーザは、画像提供用サーバ 4 にあるプログラムダウンロード用サイトから、インターネット 3 を介して所定のプログラムをダウンロードする（ステップ S 3 0 1）。プログラムをダウンロードした後、ユーザの端末は、画像処理装置 1 となる。ユーザは、図 9 に示した流れで、画像を加工して送信する（ステップ S 3 0 2）。

【 0 1 0 2 】

すると、画像処理装置 1 から送信された画像データとテキスト形式のユーザ情報から成るメールは、インターネット 3 を介して画像提供用サーバ 4 に受信される（ステップ S 3 0 3）。次に、メールのデータは、画像送信用プログラムに受け渡される（ステップ S 3 0 4）。

【 0 1 0 3 】

次に、画像送信用プログラムは、送信元、送信先、サブジェクトをチェックする（ステップ S 3 0 5）。次に、時間帯のチェックが行われる（ステップ S 3 0 6）。メンテナンスの時間帯に送られると、処理ができないからである。次に、バージョンチェックが行われる（ステップ S 3 0 7）。ユーザがダウンロードしたプログラムのバージョンによって、処理が異なるからである。

【 0 1 0 4 】

次に、メールデータの解析が行われる（ステップ S 3 0 8）。具体的には、本文データの解析と、画像データの取得等が行われる。次に、ユーザの登録状況、すなわち送信先のメールアドレス、有効期限等がチェックされる（ステップ S 3 0 9）。具体的には、画像提供用サーバ 4 は、利用登録テーブル 2 6 を検索し、送信者と送信先のアドレスが登録されているか否かをチェックする。

【 0 1 0 5 】

もし、登録されていない場合には、エラーとなる。かかる場合には、画像データは破棄される。そして、送信者のアドレスにエラーとなった旨と登録を促すメッセージデータが送信される。また、登録済みである場合には、送信用画像 5 2 が保存される場所となる URL が作成される（ステップ S 3 1 1）。

【 0 1 0 6 】

ステップ S 3 1 1 では、画像提供用サーバ 4 のアドレス作成手段は、図 1 1 に示すような URL 9 1 を作成する。この URL 9 1 は、所定フォーマットの URL 9 2 に、送信者のメンバー ID 9 3 と暗号化したパスワード 9 4 と配信 ID 9 5 とを付記して作成される。所定フォーマットの URL 9 2 だけの場合には、第三者は、でたらめに URL を入力したり、あるいは送信先の相手の横で盗み見て入力することができる。

【 0 1 0 7 】

しかし、図 1 1 の URL 9 1 のように、メンバー ID 9 3 と暗号化したパスワード 9 4 と配信 ID 9 5 が付記されているため、第三者がでたらめに URL を入力して、画像を横取りする危険性は極めて低くなる。特に、暗号化したパスワード 9 4 があるため、第三者が携帯電話 8 を盗み見しても、URL 9 1 を知ることはできない。

【 0 1 0 8 】

また、画像の配信毎に異なる配信 ID が付記されるので、第三者は、暗号化パスワード 9 4 を知ったとしても、複数の画像データを横取りすることはできない。こうして、被害を最小限にするようにしている。一方、携帯電話 8 の持ち主は、送られてきた URL 9 1 を指定するだけなので、画像データを取り込むために余計な入力負担がない。

【 0 1 0 9 】

ただし、メンバー ID 9 3、暗号化したパスワード 9 4、配信 ID のいずれか一方のみを付記するようにしても良い。さらに、暗号化したパスワード 9 4 ではなく、暗号化していないパスワードを採用し、携帯電話 8 の画面に、パスワードの部分をアスタリスクで表示するようにしても良い。

【 0 1 1 0 】

さて、ステップ S 3 1 1 にて URL 9 1 が作成されると、画像送信手段は、画像データを、その URL 9 1 の格納場所に送信して保存する（ステップ S 3 1 2）。具体的には、画像データは、送信画像テーブル 2 7 に送信され、保存される。一方、アドレス送信手段は、ステップ S 3 1 1 にて作成された URL 9 1 を、送信先の携帯電話 8 に向けて、送信する（ステップ S 3 1 3）。

【 0 1 1 1 】

次に、URL 9 1 を送信された相手は、URL 9 1 を指定する（ステップ S 3 1 4）。すると、その指定は、通信局 7、携帯端末接続用サーバ 6、インターネット 3 を経て、画像提供用サーバ 4 に届く。すると、画像提供用サーバ 4 では、登録状況のチェックが行われる（ステップ S 3 1 5）。具体的には、利用登録テーブル 2 6 にアクセスし、登録されているアドレスを含む URL 9 1 か否かがチェックされる。

【0 1 1 2】

登録状況のチェックの結果、登録されていない場合には、携帯電話 8 にエラー表示がされる。一方、登録されている場合には、送信画像テーブル 2 7 から画像データが取得される（ステップ S 3 1 6）。続いて、HTML が作成される（ステップ S 3 1 7）。そして、画像データが表示される（ステップ S 3 1 8）。画像データは、携帯電話 8 に送信されて、その待ち受け画面に設定される（ステップ S 3 1 9）。

【0 1 1 3】

なお、アドレス作成手段とアドレス送信手段は、画像提供用サーバ 4 ではなく、画像処理装置 1 に備えられても良い。かかる場合、送信者情報受付手段を画像処理装置 1 に備えて、ユーザが入力したメンバ ID とパスワードを受付けてから、これらを所定のアドレスに付記して、図 1 2 に示すような URL 9 1 を作成するようにすれば良い。

【0 1 1 4】

こうすると、画像提供用サーバ 4 にアドレス作成手段を備える必要がなくなる。ただし、画像処理装置 1 のデータ量をできるだけ少なくする必要がある場合には、図 1 1 に基づいて説明したように、画像提供用サーバ 4 にアドレス作成手段を備えるのが好ましい。

【0 1 1 5】

URL 9 1 が示す画像は、特定の携帯電話 8 からのみ閲覧可能となっている。画像提供用サーバ 4 は、携帯電話固有の ID を保持する。画像提供用サーバ 4 は、携帯電話 8 からの画像閲覧のアクセスがあった際に、保持している携帯電話固有の ID とアクセス元携帯電話の ID を比較し、ID が一致した場合にのみ画像を表示するようにしている。

【0 1 1 6】

画像提供用サーバ 4 が携帯電話固有の ID を保持していない場合、あるいはアクセス元携帯電話の ID と不一致の場合には、利用登録時に設定したパスワードを携帯電話 8 から入力することにより、画像を表示できる。パスワードによって画像を表示した場合、アクセス元携帯電話の ID を画像提供用サーバ 4 に保存

する。

【0117】

携帯電話 8 を変えた時には、送信者側から送られたメール中のパスワードを入力することによって、別の携帯電話 8 に画像を送信してもらうことができる。この際、最初にパスワードの入力手続を行っておくと、2 回目以降にパスワードを入力する必要はない。最初のパスワード入力によって、利用登録テーブル 2 6 に、携帯電話固有の ID が登録されているからである。

【0118】

次に、月会員制ユーザが会員データの変更あるいは退会を行う手続の流れについて、図 1 3 に基づいて説明する。

【0119】

ユーザは、画像処理装置 1 等の端末から、画像提供用サーバ 4 内の会員専用サイトにログインする（ステップ S 4 0 1）。ステップ S 4 0 1 では、ユーザは、送信先のメールアドレス、パスワードを入力することによって、ログイン可能となる。

【0120】

次に、会員専用サイトにおいて、ユーザ認証が行われる（ステップ S 4 0 2）。具体的には、利用登録テーブル 2 6 の登録データが検索される。ここで、登録されていない場合には、エラー表示がユーザの端末に送信される。また、登録されている場合には、会員専用ページが表示される。

【0121】

会員専用ページにおいて、ユーザが送信先のアドレスの変更を選択すると（ステップ S 4 0 3）、アドレスの変更処理が行われる（ステップ S 4 0 4）。また、会員専用ページにおいて、ユーザがパスワードの変更を選択すると（ステップ S 4 0 5）、パスワードの変更処理が行われる（ステップ S 4 0 6）。

【0122】

一方、会員専用ページにおいて、ユーザが退会手続を選択すると（ステップ S 4 0 7）、商用のプロバイダサーバ 5 にある電子決済サービス提供サイト 5 a において月決済キャンセル処理が行われる（ステップ S 4 0 8）。続いて、会員専

用ページでは、退会手続処理が行われる（ステップ S 4 0 9）。

【 0 1 2 3 】

ステップ S 4 0 4、ステップ S 4 0 6 またはステップ S 4 0 9 に続いて、利用登録テーブル 2 6 内への登録データの格納あるいは抹消処理がなされ、変更・退会処理が完了する（ステップ S 4 1 0）。

【 0 1 2 4 】

なお、本発明に係る画像処理装置、画像処理方法、画像処理システムならびに情報記録媒体は、上述の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々の変形を可能とする。

【 0 1 2 5 】

例えば、画像処理装置 1 に、仮想携帯端末表示部 1 9 および記憶部 2 0 の内少なくともいずれか 1 つを備えなくても良い。仮想携帯端末表示部 1 9 を備えない場合には、携帯電話の表示がされずに、機種指定部 1 5 にて指定した機種に基づいた画面の形態で画像が切り取られる。このような方法であっても、送信先の携帯電話 8 の画面に合った形態の画像が設定される。

【 0 1 2 6 】

しかし、仮想携帯端末の表示がされた状態で画像を切り取るようにすると、送信者が、送信先の相手の携帯電話 8 にどのように画像が設定されるかを確認した上で送信できる。したがって、仮想携帯端末表示部 1 9 を設ける方が好ましい。

【 0 1 2 7 】

また、記憶部 2 0 を設けない場合には、画像処理装置 1 内に、送信済みの画像が保存されない。しかし、頻繁に同じ相手に画像を送信する等の場合には、送信者が既に送信した画像か否かを把握できる方が良い。したがって、記憶部 2 0 を備えるのが好ましい。

【 0 1 2 8 】

また、上記の理由から、仮想携帯端末表示ステップは、機種の入力後に、入力された機種の携帯電話を表示するようにしても良い。なお、送信ステップ、機種指定ステップ、画面形態決定ステップ、画面表示ステップおよび画像切取ステップを含み、仮想携帯端末表示ステップおよび記憶ステッププログラムの少なくとも

もいずれか一方のステップを含まないプログラムを格納した情報記録媒体としても良い。

【0129】

また、仮想携帯端末の表示ではなく、カメラ等の他の画像取り込み機器の画像を表示させ、そのシャッターをきる動作によって、送信用画像52を切り取るようにしても良い。また、記憶部20を画像処理装置1に持たせずに、インターネット3を介した遠隔地に記憶手段を設置しても良い。かかる場合、送信した画像をその遠隔地にある記憶部に格納することになる。

【0130】

また、上述の実施の形態では、画像処理装置1は、URL91を相手の携帯電話8に送信し、画像データを送信画像テーブル27に送信するようにしている。しかし、URL91を送信せずに、画像データを携帯電話8に直接送信するようにしても良い。

【0131】

また、ユーザがダウンロードするプログラムは、無料であっても有料であっても良い。また、ユーザがダウンロードするプログラムに、新しい画像データを含めることもできる。かかる場合、ユーザは、画像処理装置1で別のホームページから画像データを取り込んだり、写真をスキャナで読み込む必要はない。ユーザは、定期的に更新される画像データをプログラム毎ダウンロードするだけで、新作画像を友達に送信することができる。

【0132】

【発明の効果】

本発明によれば、相手の携帯端末の画面にフィットした画像を送ることが出来る。また、相手に対して安全に画像を送ることが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る画像処理装置の実施の形態を含めたネットワークシステムを示す図である。

【図2】

図 1 に示す画像処理装置の構成を示す図である。

【図 3】

図 1 のネットワークシステムによって、ユーザが画像提供サービスの会員登録を行う際の手続の流れを示す図である。

【図 4】

図 1 の画像処理装置において、プログラムを立ち上げた時に表示される仮想携帯端末を示す図である。

【図 5】

図 4 に示す仮想携帯端末を使って、画像を取り込む作業を説明するための図である。

【図 6】

図 4 に示す仮想携帯端末において、携帯端末の機種を選択する画面を示す図であり、(A) はサイズキーを押したときに表示される画面を、(B) は (A) の画面から他の機種を表示させた状態の画面をそれぞれ示す図である。

【図 7】

図 4 に示す仮想携帯端末において、リストキーを押したときに表示される画面を示す図である。

【図 8】

図 7 の画面から、送信確認キーを押したときに表示される画面を示す図である。

【図 9】

図 1 に示す画像処理装置において、画像の加工処理と送信処理の流れを示すフローチャートである。

【図 1 0】

図 1 に示す画像提供用サーバの実施の形態の構成を示す図である。

【図 1 1】

図 1 のネットワークシステムによって、ユーザの端末にて画像の加工処理および送信を行ってから、相手の携帯電話に画像が送られるまでのフローチャートを示す図である。

【図 1 2】

図 1 1 に示す処理において、アドレス作成手段が作成する URL を示す図である。

【図 1 3】

図 1 のネットワークシステムによって、月会員制ユーザが会員データの変更あるいは退会を行うフローチャートを示す図である。

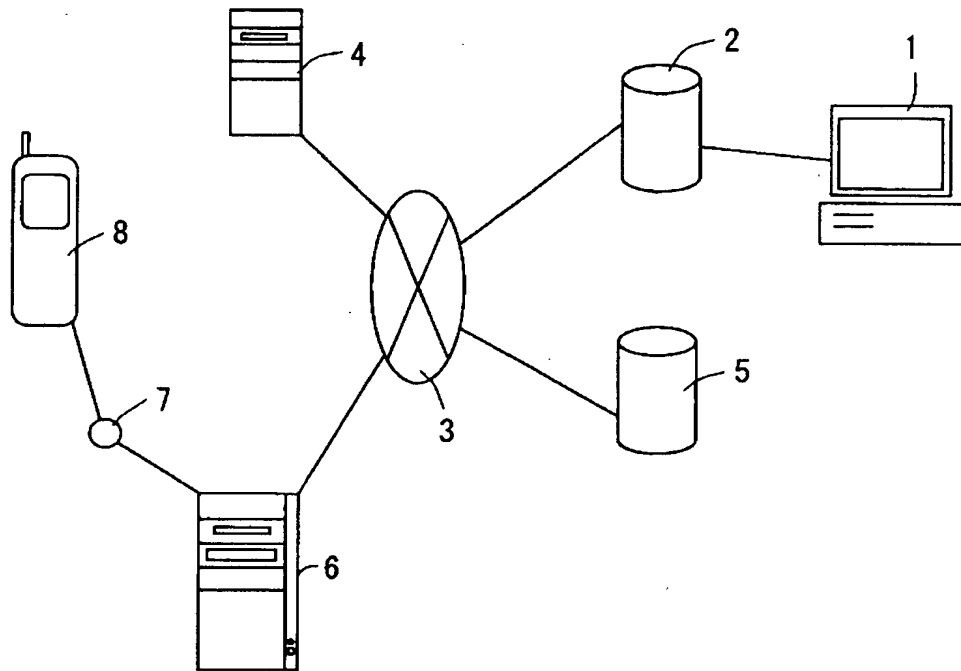
【符号の説明】

- 1 画像処理装置
- 3 インターネット
- 4 画像提供用サーバ（サーバ、画像処理装置）
- 8 携帯電話（携帯端末）
- 1 1 データ送受信部（送信手段）
- 1 2 制御部
- 1 5 機種指定部（機種指定手段）
- 1 6 画面形態決定部（画面形態決定手段）
- 1 7 画面表示部（画面表示手段）
- 1 8 画面切取部（画面切取手段）
- 1 9 仮想携帯端末表示部（仮想携帯端末表示手段）
- 2 0 記憶部（記憶手段）
- 1 1 1 データ送受信部（送信手段）
- 1 2 0 画像形成部（画像形成手段）
- 1 2 1 画像保持処理部（画像保持処理手段）
- 1 2 2 ファイル形成部（ファイル形成手段）

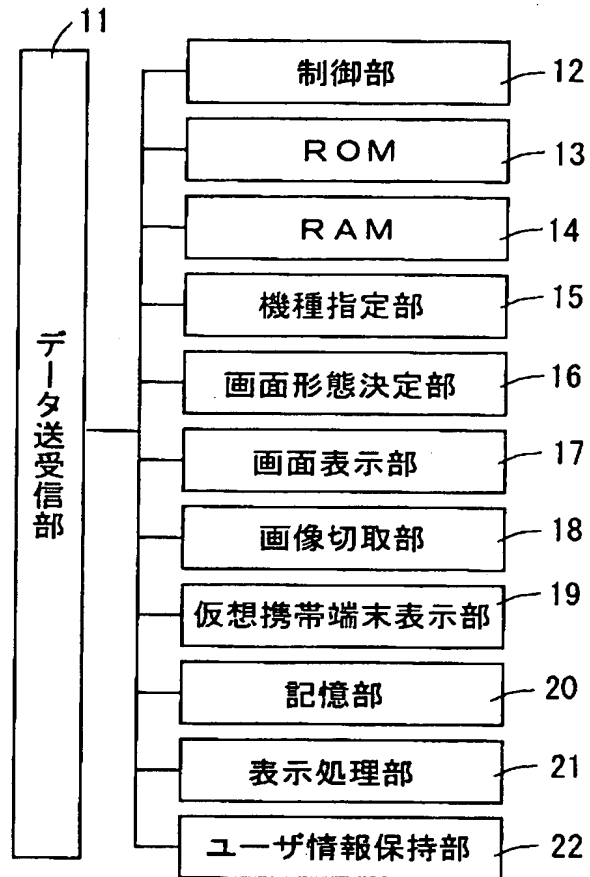
特 2 0 0 0 - 1 5 7 2 5 2

【書類名】 図面

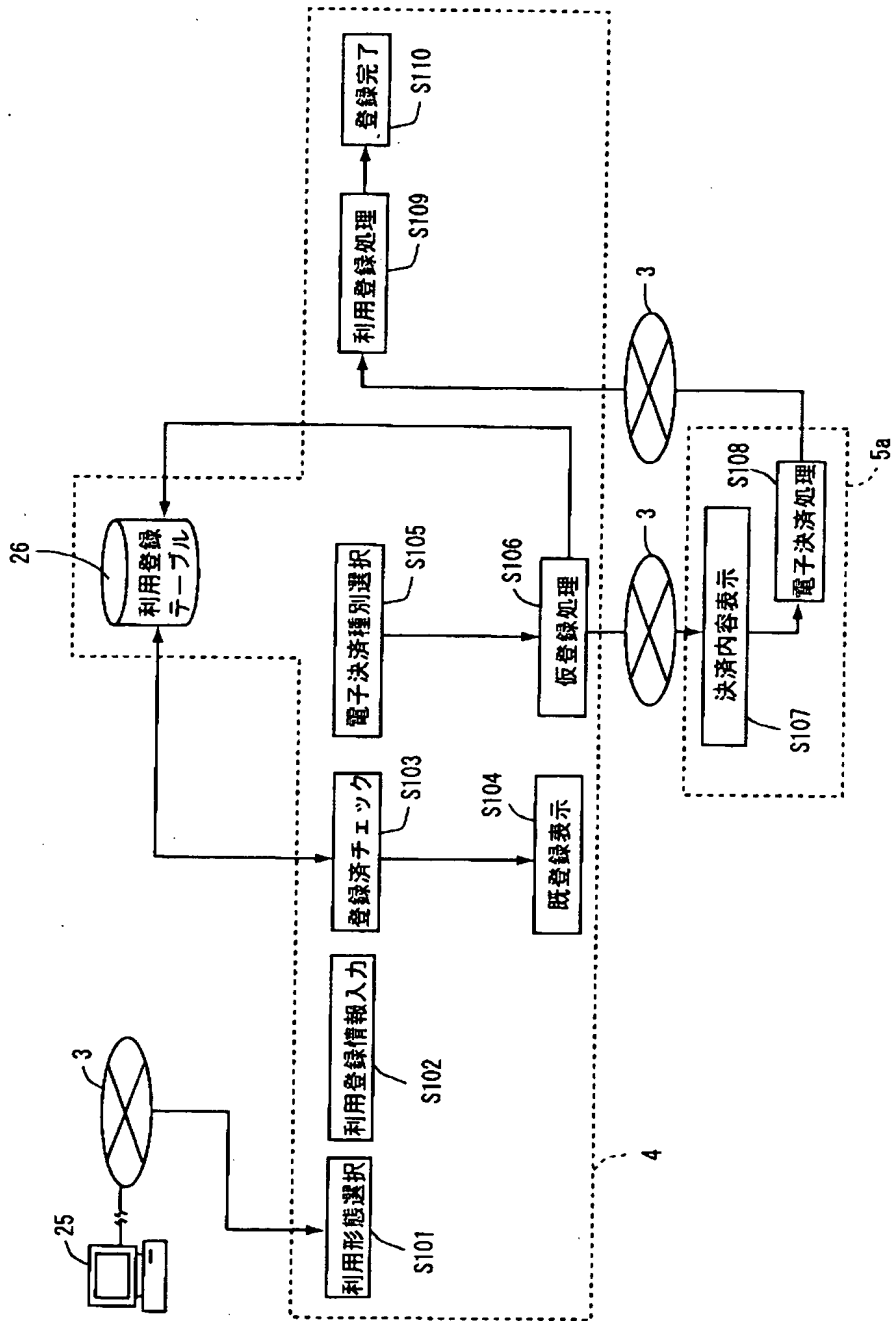
【図1】



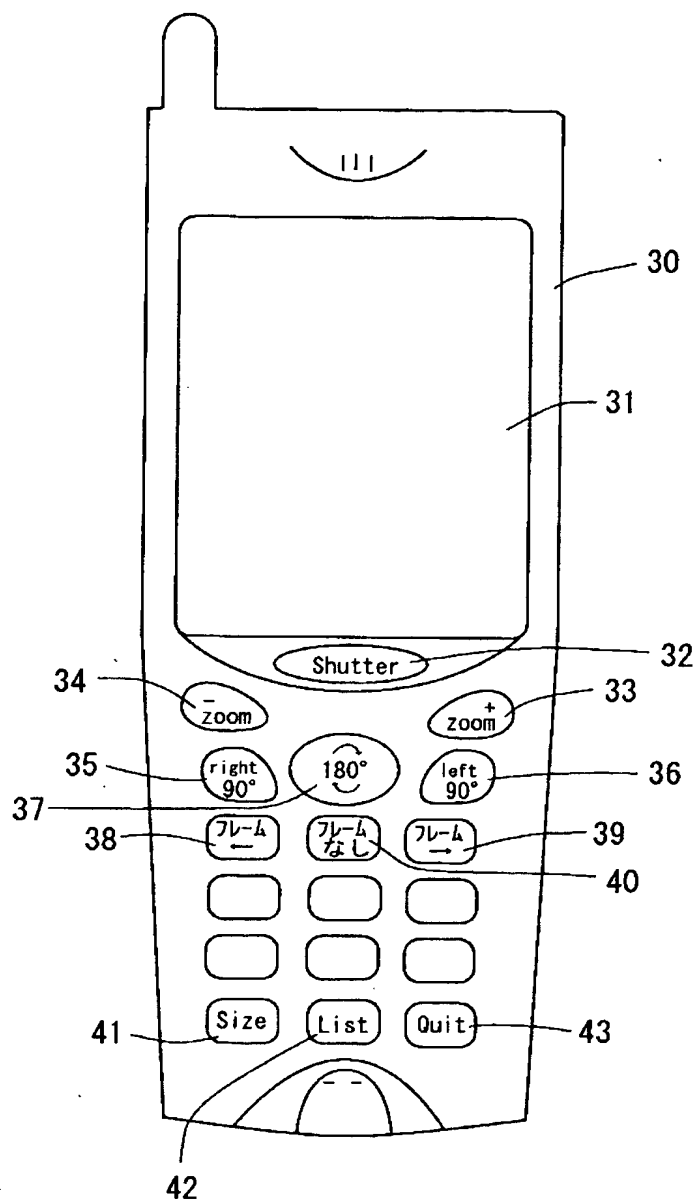
【図2】



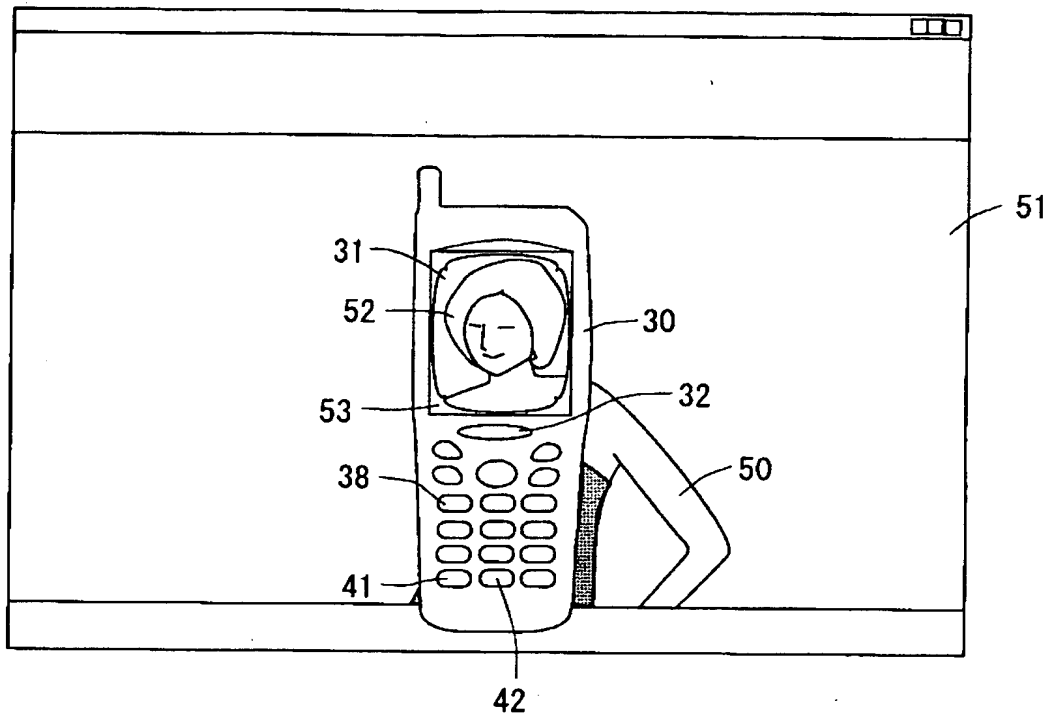
【図 3】



【図4】

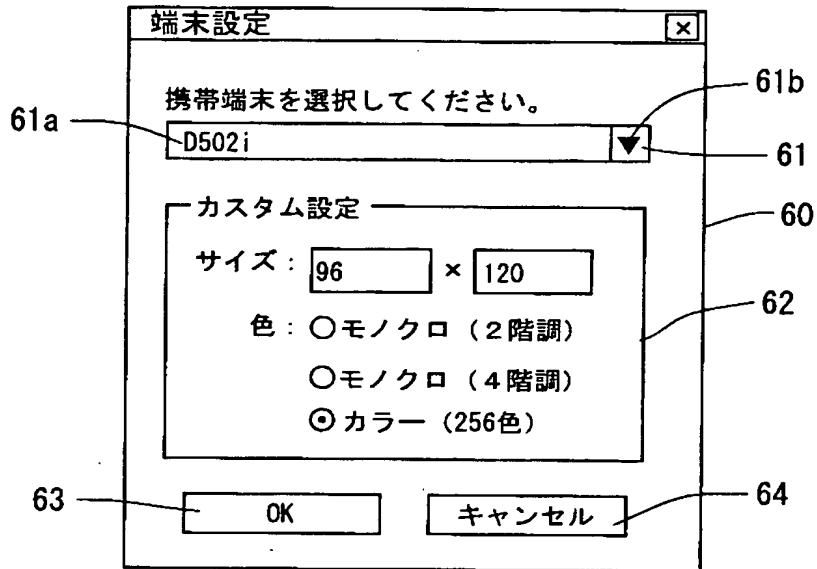


【図 5】

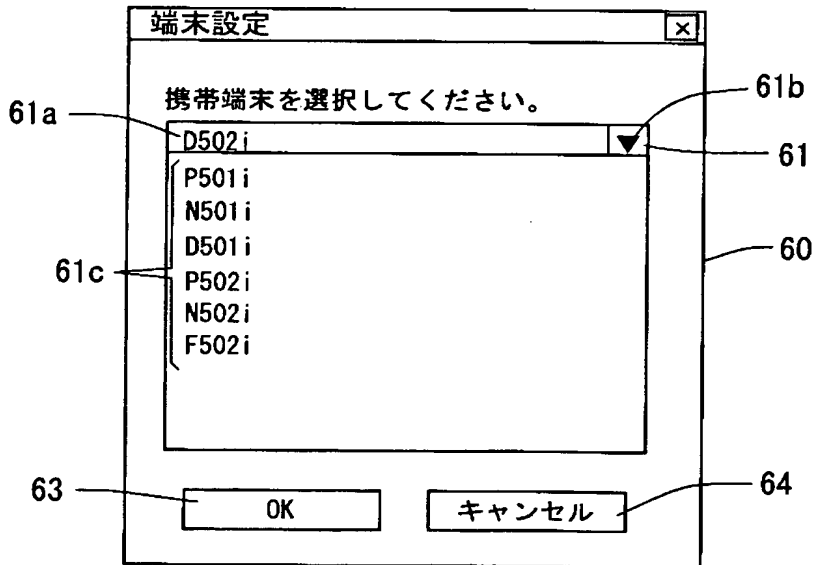


【図6】

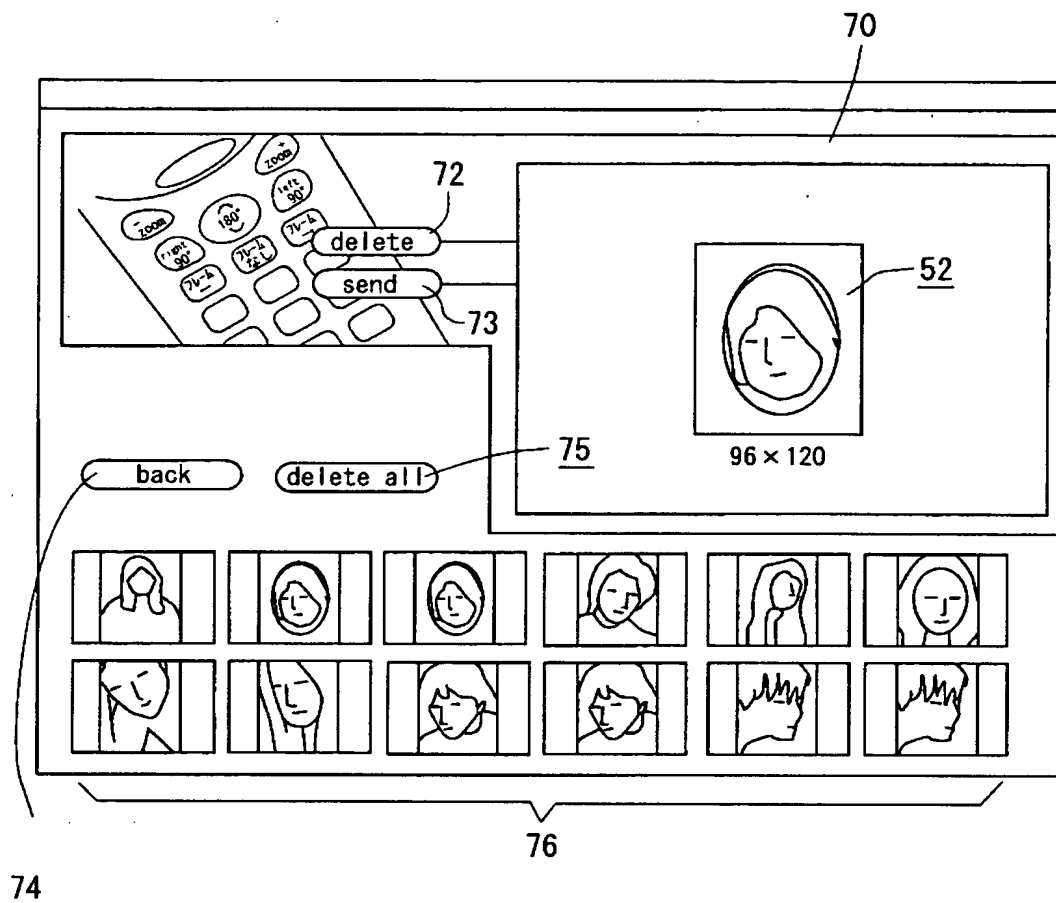
(A)



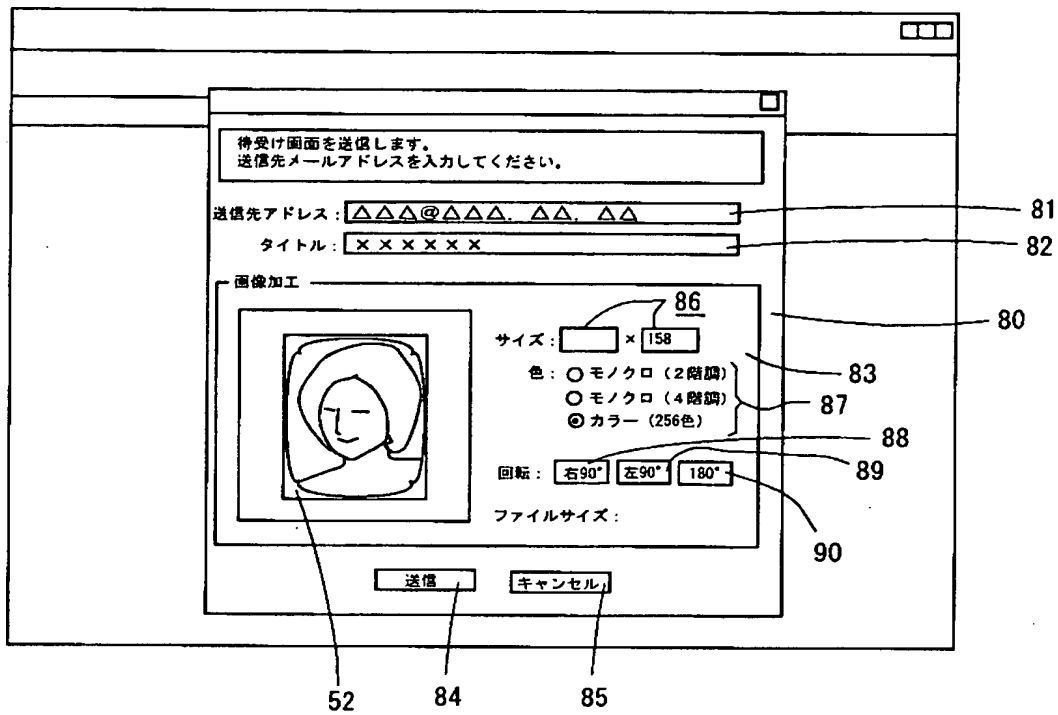
(B)



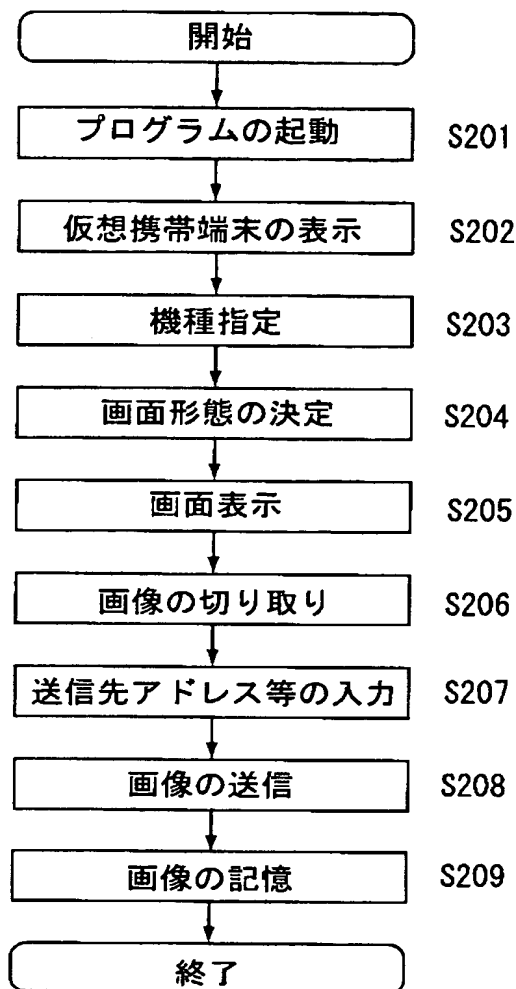
【図 7】



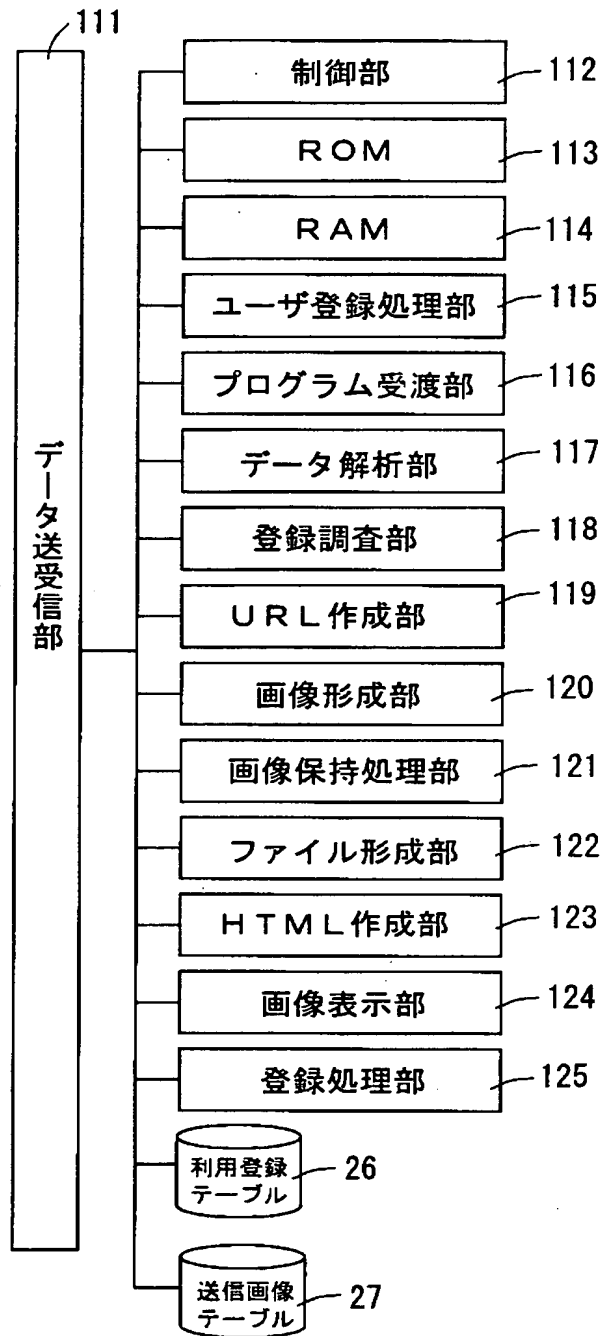
【図8】



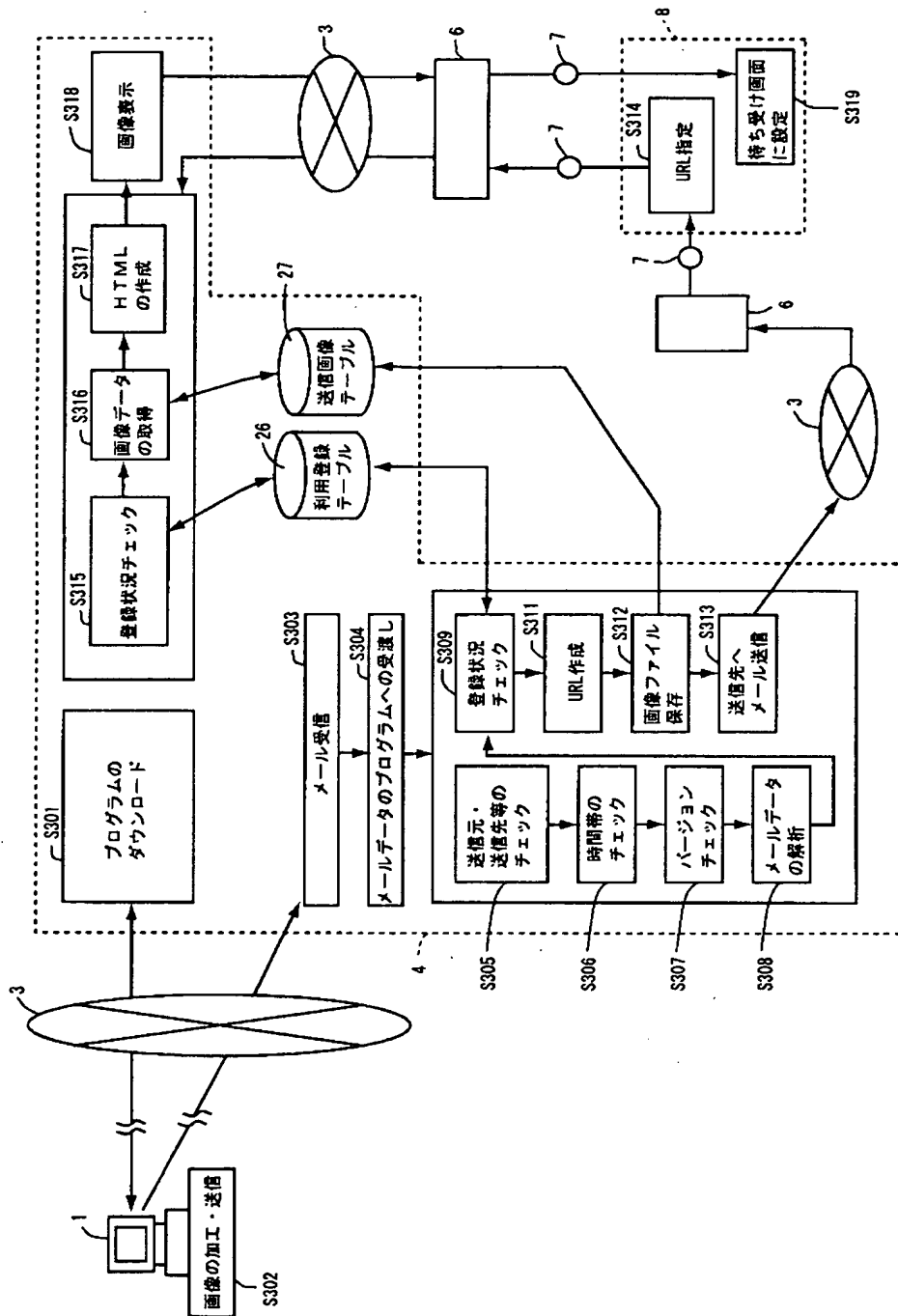
【図 9】



【図10】



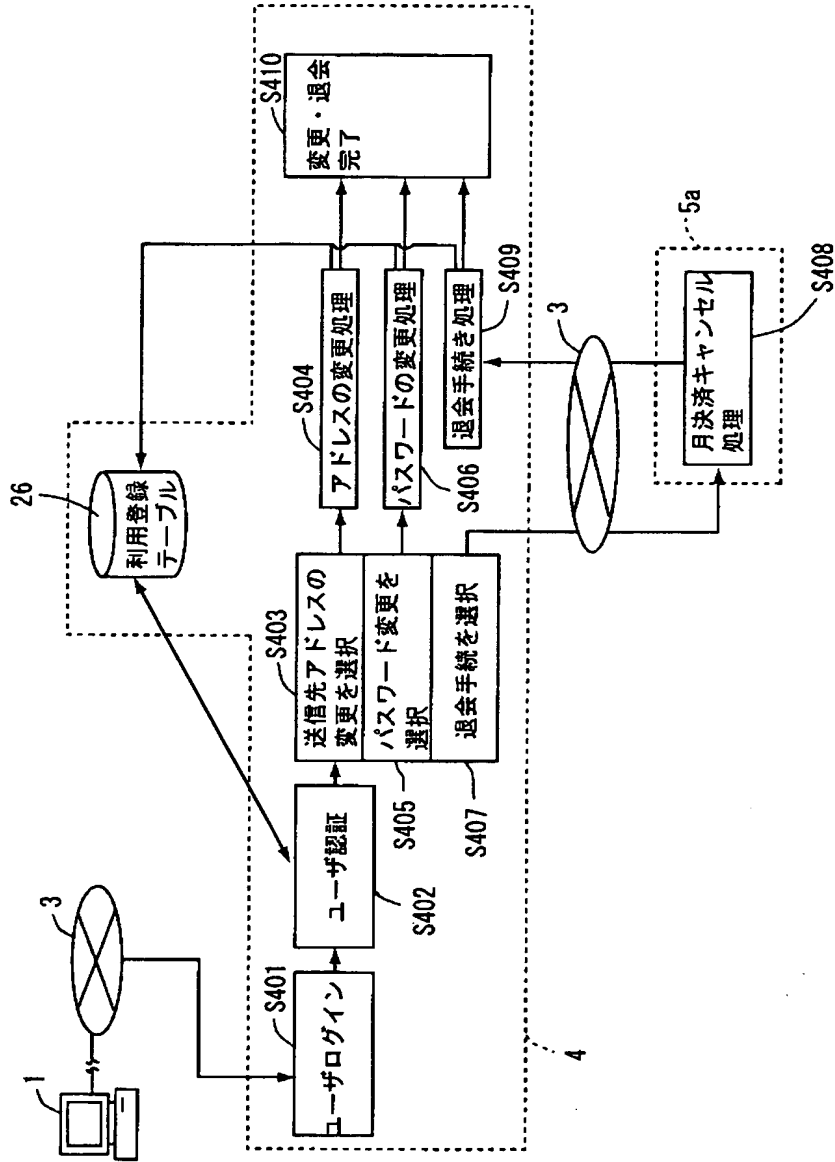
【図11】



【図 12】

91
http://www/pic-net.com/<メンバーID>&<暗号化したパスワード>&<配信ID>
92 93 94 95

【図13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 相手の携帯端末の画面にフィットした画像を送ることが出来る画像処理装置、画像処理方法ならびに情報記録媒体を提供する。

【解決手段】 画像を送信する先の送信先携帯端末の機種を指定する機種指定手段 1 5 と、その指定した機種の画面形態、データ許容量、画像のデータフォーマットの内少なくとも画面形態を決定する画面形態決定手段 1 6 と、送信する画像を切り取る画像切取手段 1 8 と、その切り取った画像を、送信先携帯端末がアクセス可能なサーバあるいは送信先携帯端末自体に送信する送信手段 1 1 とを備えた画像処理装置とする。

【選択図】 図 2

職権訂正履歴（職権訂正）

特許出願の番号	特願2000-157252
受付番号	50000655774
書類名	特許願
担当官	塩崎 博子 1606
作成日	平成12年 6月13日

<訂正内容1>

訂正ドキュメント

明細書

訂正原因

職権による訂正

訂正メモ

【図面の簡単な説明】の【図9】を改行し、正しい位置に記録します。

訂正前内容

【図面の簡単な説明】

・
・

【図8】

図7の画面から、送信確認キーを押したときに表示される画面を示す図である。【図9】 図1に示す画像処理装置において、画像の加工処理と送信処理の流れを示すフローチャートである。

訂正後内容

【図面の簡単な説明】

・
・

【図8】

図7の画面から、送信確認キーを押したときに表示される画面を示す図である。

【図9】

図1に示す画像処理装置において、画像の加工処理と送信処理の流れを示すフローチャートである。

特2000-157252

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500242672]

1. 変更年月日 2000年 5月26日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区北新宿1丁目1番17号

氏 名 株式会社クラフテック